

特別講演 生命の樹 ー再生するいのちー

【講師】

鶴岡真弓 (多摩美術大学教授)

「ヨーロッパからイスラム文化圏まで幅広く用いられている生命の樹について」

杉浦康平 (グラフィックデザイナー・神戸芸術工科大学名誉教授)

「インド、アジア、日本へと波及する生命の樹とそれらを取り巻く思想について」

【司会】原 聖 (本学教授・図書館長)

【参加費】無料 (ただし入館料は必要) 【定員】120名 ※8月20日より申込受付開始

10/4 sat

13:00 ~ 16:00

9/23 tue

秋分の日

14:00 ~ 16:30

ワークショップ 1 フワフワ動物刺繍ブローチ付きオリジナル生命の樹バックをつくろう！

B4サイズ程度の市販のバックに、染料で生命の樹を描きます。ウール生地に生き物をスタンプし、そこに刺繍をあしらひ、綿をつめてブローチに仕立てます。

【講師】野田はなこ (文化服装学院生涯学習講師) 山下ちかこ (本学非常勤講師)

【作業時間】2時間 ~ 2時間半 【対象】小学生 【材料費】2000円

【定員】20名 ※8月20日より申込受付開始

ワークショップ 2 くるみぼたんを作ろう

女子美染織コレクションから選りすぐりの柄をプリントした布をご用意します。好きな布でくるみぼたんをお作りいただけます。ワンポイント刺繍もできます。

【作業時間】20分 【材料費】1個100円

【定員】なし 申込不要 随時参加可能

9/14 sun

9/27 sat

13:00 ~ 16:00

※随時受付

学芸員によるギャラリートーク

9/13 sat

9/28 sun

14:00 ~

1時間程度

当館学芸員が展覧会の解説を行います。

【参加費】無料 (ただし入館料は必要)

【定員】なし 申込不要

※申込が必要な講演・ワークショップは8月20日以降に、女子美アートミュージアムまで E-Mail・Fax・電話のいずれかの方法でお申しください。お申込の際には下記の項目をお知らせください。定員になり次第、締切といたします。

①申込イベント名 ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤参加人数

お申込・お問い合わせ

JAM 女子美アートミュージアム

〒252-8538

神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学相模原キャンパス

【Tel】042-778-6801 【Fax】042-778-6815

【E-Mail】museum@venus.joshibi.jp

【美術館サイト】http://www.joshibi.net/museum/

交通案内

●小田急線「相模大野駅」北口3番バス乗場「女子美術大学」行き乗車約20分

※平日・土曜日午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール前4番バス乗場より乗車

●JR 横浜線「古淵駅」2番バス乗場「女子美術大学」行き乗車約15分

□車でご来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください

会場：女子美アートミュージアム 主催：女子美術大学美術館

後援：相模原市、相模原市教育委員会

開館時間：10:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日：火曜日 (祝日の場合は開館し、翌水曜日休館)

入館料：一般300円

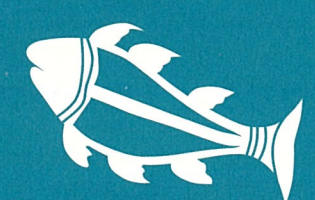
(学生、高校生以下、65歳以上、身体障がい者手帳等をお持ちの方のちのち)



生命の樹

2014.9.6.sat.
10.19.sun.

ー再生するいのちー



生命の樹

2014.9.6.sat.
10.19.sun.
—再生するいのち—

女子美染織コレクション展 Part4

立樹模様更紗

18世紀 インド

盛り上がった土羽から1本の樹木が力強く上へ伸びる様子を表現した更紗。生命の樹はイスラム教のカアバ（メッカにある聖殿）を示すミフラブをかたどるアーチの中心に位置し、たわわな果実が描かれ豊穣の象徴として示されています。



女子美染織コレクション展 Part4 では、「生命の樹—再生するいのち—」と題して生命の樹をモチーフとした染織品を展示します。生命の樹は古来よりアジアをはじめ、ヨーロッパやイスラム地域などでも好まれたモチーフです。それぞれ樹種は違いますが、個々の文化を反映するシンボルツリーが表現されており、つねに新たな命を育む生命力の強さに人類は畏敬の念を抱いてきました。東西にまたがる生命の樹をモチーフとした染織品を取り上げ、自然と向き合ってきた人々の営みを再認識したいと思います。



クリシュナ物語図更紗

18世紀 インド

この度、修復を終えた「クリシュナ物語図更紗」を公開いたします。クリシュナ神はヒンドゥー教におけるビシュヌ神の化身で、インドでも最も人気のある英雄神です。クリシュナはビシュヌ神の抜いた黒い頭髪から生まれたとされ、その身体は黒（絵画などでは青）で表現されています。多くの物語が伝えられ絵画のテーマとしても取り上げられており、幼少期の「いたずら」や少年期の武勇譚、美しい青年に成長して多くの女性たちと繰り広げるロマンスなど興味深い逸話に人気があります。本作品には若いクリシュナが母の目を盗んで牛乳（チーズの原料）を仲間と盗み出すシーンや美しい女性たちが沐浴しているところへクリシュナが現れ、彼女たちの衣服を持って木にくくりつけてしまうシーンなどが表現されています。



クリシュナ物語のアニメーションを JAM ロビーにて上映しています！

「クリシュナ物語図更紗」の主人公であるクリシュナ神の物語をアニメーション制作いたしました。
制作者：山本紗矢香（2011年度本学卒業生） 駒崎友海（2013年度本学卒業生）
監修者：村田朋泰（本学デザイン・工芸学科ヴィジュアルデザイン専攻准教授）

桜樹詠文字模様小袖

江戸時代 18世紀 日本

たおやかな桜樹に大ぶりの桜の花が満開に咲き誇る小袖。生命の樹は日本において洗練されたデザインとなって衣裳の中に息づいています。



草花模様コプト裂

6～9世紀 エジプト

コプトとはエジプトのキリスト教徒のことを称します。コプトの染織品は衣服などの副葬品として墳墓から発掘されたものです。この断片もチュニクやショールの一部だったのでしょう。葉の形の中に地中から大きな実または花をつけた植物が表現されています。



立木鳥獣模様更紗

19世紀 インド

糸杉を中心に左右に象に襲いかかる獅子、孔雀、花唐草が一面に表現された更紗。糸杉は地中海から西アジアに広く分布し、古代エジプトやローマでは神聖な樹木とされていました。生命樹の下で生死が繰り返される場面を力強く表しています。



女子美アートミュージアムグッズ 販売開始！

女子美術大学美術館が所蔵する染織コレクションは、エジプトのコプト裂をはじめ、アンデスの染織品、インドの更紗、日本の小袖など世界各地の染織品からなり、その規模は国内最大級です。この度、当展覧会を記念して、これらを元に生命の樹をテーマにしたミュージアムグッズを作りました。本学学生デザイナー達が企画から制作まで手がけた女子美のオリジナルグッズです。